



地域医療連携室だより

Vol. 103

平成 30 年 1 月 1 日発行

発行元 地方独立行政法人

市立大津市民病院 地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

FAX 077-522-0192

大津市民病院

検索

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より当院の運営に格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当院は昨年 4 月 1 日から経営形態の変更に伴い、名称も新たに『地方独立行政法人市立大津市民病院』として新たにスタートしました。昨夏には当院の歴史 118 年の歩みパネル展示を作成させていただきましたが、こうして無事に新しい年を迎えることができましたのも、ひとえに地域の皆様方のご支援ご鞭撻の賜物であります。心から感謝申し上げます。

今後も当院は職員一丸となり、地域医療支援病院として、急性期医療を担う中核病院として地域の皆様にとってなくてはならない健康・医療拠点としての役割を果たしてまいります。変化の時代にあって、変化に対応する自己変容可能な組織体として、皆様のお声を真摯に拝聴して地域の医療ニーズに的確に応え続けていく所存です。昨年も診療所をはじめ多くの施設訪問をさせていただきました。今後も地域の先生方や皆様との“顔の見える強固な信頼関係”の構築と“心のかよう連携強化”に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



市立大津市民病院理事長・院長
片岡 慶正

血液内科



血液内科 診療部長
中尾 光成

平素より地域の先生方におかれましては、患者様の診療を通じて市立大津市民病院の地域医療連携にご高配を賜りありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げますとともに血液内科の診療内容および体制につきましてご紹介させていただきます。

血液内科は現在、内科の一部門として標榜させて頂いておりますが、血液内科専任スタッフといたしまして中尾（診療部長）および井出（専攻医）の常勤 2 名で診療を行っております。

入院診療の対象疾患は主に急性白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍となりますが、治療は化学療法が中心であり治療期間が長期間におよぶことがほとんどです。食事や運動面など普段とは違う生活を強いられる入院が長期におよぶことは精神的、身体的なストレスが伴います。

従いまして、治療レジメンや副作用の程度、患者様の年齢や全身状態、家庭環境などを考慮しながら、極力入院が長期間に渡らないように工夫をしております。具体的には入院中の ADL 維持のためのリハビリテーションをおこなったり、薬剤師や歯科衛生士、栄養士といったコメディカルと連携して全身状態を維持したりするとともに、病棟のベッドコントロールにも協力いただきながら、例えば土日休日の入退院や在宅療養中の急な体調変化になどにも対応しておりますので患者様は安心して療養に専念できるようになっております。また、可能な患者様には外来通院治療もおこなっております。

外来におきましては再生不良性貧血や特発性血小板減少性紫斑病など慢性非腫瘍性疾患の方も多数おられ、輸血等の対応もおこなっております。外来日は週 2 回、火曜日と金曜日となっておりますので、紹介患者様におかれましては地域医療連携室を通してご予約いただくことによりできるだけお待たせすることがないよう配慮させていただいております。

血液疾患は決して数が多くはありませんが専門的な診断や治療が必要なこともありますので、お気軽にご紹介いただければ幸いです。また、中には進行が早いものもございますので、お急ぎの場合は直接ご相談頂ければ、当日中も含め柔軟に対応させていただきますのでよろしくお願い致します。



こんな看護をしています

一専門看護師の紹介一

がん看護専門看護師 杉江 礼子



私は現在緩和ケア病棟に所属し、緩和ケアチーム、患者相談支援室でのがん相談、病状説明時のサポートなどを含めて、様々な専門職の方と連携しながら、緩和ケアを中心に活動しています。院内のがん看護の質向上につながるように、ケア実践のサポートや、研修・委員会活動を通してスタッフ教育にも携わっています。

緩和ケアは、がん終末期のケアではなく、国のがん対策でもがん診断時からの緩和ケアの提供が明示されています。近年は、がん治療の高度化・多様化および療養場所にまつわる社会的背景の影響が大きく、患者様・ご家族が何を大切に、どこでどのように過ごしたいかを、医療者と話し合い、意思決定を支援していくことも、患者様・ご家族の QOL に寄与する大切なケアであると感じています。病気のどの時期であっても、どここの場所でもその人らしく生活できるように、心身のつらさを和らげ、その状況に向き合う方法を、患者様・ご家族、医療者の方と一緒に考え、お手伝いできればと思っています。

これからも、住み慣れた地域で患者様・ご家族の療養を支援出来るように、地域の医療者の皆様とのネットワークが一層重要になっていくと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

私は 2015 年に母性看護専門看護師の認定を受けました。全国で約 70 名とまだ少ない人数ですが、女性、母子・家族への支援を行っています。

妊娠・出産・育児は女性のライフサイクルの中で大きな転換期となります。近年、女性のライフスタイルの変化により、高齢出産や合併症妊娠、シングルやサポート不足、精神疾患合併など身体的、社会的、精神的に問題を抱える妊婦が増加しています。また、正常な妊娠経過を辿っていても予定外のことが起きることも多く、そのような場合に女性やご家族と共に考え、解決のための支援や調整を行っています。すべての女性が安心・安全で満足できる出産、育児が行えるよう、女性に寄り添いながら、そして他の医療・地域スタッフと連携しながらサポートしています。

また、妊娠中や産後の女性だけでなく、早産や病気などにより赤ちゃんが入院中の方、流産や死産を経験された方のサポートも継続的に行っています。気軽に相談していただければと思います。

母性看護専門看護師
助産師 岡田 真奈

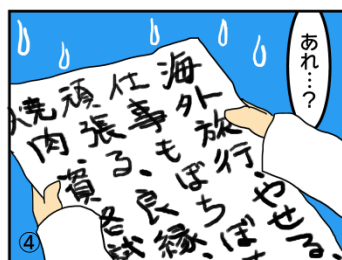


2018

MSW アイコさん



作：まきろん



第5回 健康講座

テーマ:『聞いてみたくなる検査のはなし』

- ◆日時: 11月22日(水) 14時~15時
- ◆場所: 市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師: 臨床検査部技師長 森 恵美子
- ◆参加者: 52名(院外47名、院内5名)



平成29年度第5回市立大津市民病院大学 健康講座を開催いたしました。
講師からは、採血、尿検査、血液型検査、基準値の意味、検査結果に影響を与える要因、生理検査(心電図、腹部エコー、肺機能検査、ABI検査他)等のお話がありました。
採血管を替えて何本も採血をするのは何故か、何本も採血をして貧血にならないのかなどのお話もあり、受講者の皆さんも興味深く聴講いただいている様子でした。
受講後アンケートでも、「とても分かり易いお話だった。」「今まで受けていた検査の意味や目的が良くわかった。」「採血管の違い、種類などが分かった。」などの意見をいただきました。

第6回 健康講座



テーマ:『肺がん手術のウラ話』

- ◆日時: 12月15日(金) 14時~15時
- ◆場所: 市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師: 副院長/呼吸器外科診療部長 戸田 省吾
- ◆参加者: 65名(院外60名、院内5名)



平成29年度第6回市立大津市民病院大学 健康講座を開催いたしました。
講義は、「外科手術の謎」と題して「ずっと立っているの?」「ずっと真剣なの?」「おしっこしなくなったらどうするの?」「すごく器用なの?」「裁縫も得意?」等の疑問から始まり、肺がん手術についてユーモアを交えた具体的な話がありました。
内容は肺がんとタバコの関係、肺がんは今も昔も怖い病気、男性では悪性腫瘍中の死亡者数第1位であるが早期に発見して手術を受ければ、胸腔鏡による楽な手術が受けられる可能性が高くなるといったものでした。
受講後アンケートでも、「楽しく聞くことができた。」「肺がんになってもこの先生なら怖くないと思った。」「タバコと肺がんの関係についてあらためて理解できた。」などの意見をいただきました。



災害医療訓練を実施いたしました!

12月2日(土)、本館2階外来フロアを中心に平成29年度市立大津市民病院災害医療訓練を実施しました。

今回は、休日夜間に滋賀県北西部に大規模災害が発生、大津市内でも多数の被災者が発生したという想定のもと、当直体制での傷病者の受入体制の構築とそれに続く傷病者受入をするというものでした。

当日の訓練参加者は約100名でしたが、参加者は“休日夜間”のスタッフが少ない中での大規模災害という状況設定に戸惑いながらも本番さながらの訓練に臨んでいました。

訓練後のフィードバックでは課題も出ましたが、市立大津市民病院は今後も災害に強い病院を目指しこのような訓練を実施していきます。



研修医 note

本年度当院では、19名の研修医（1年目：11名、2年目：8名）を受け入れています。研修プログラムでは、地域の先生方のお世話になることもあると思いますが、このコーナーではそんなフレッシュな研修医をどんどん紹介していきます！

1.氏名

疋田 健人（ひきた けん）

2.出身大学と卒業年度

京都府立医科大学

3.Dr.をめざした理由

人のお役に立てる仕事をしたいと思いました。

4.どんなDr.になりたい？

フットワークの軽いDr.になりたいです！

5.研修を通して感じたこと

様々な職種の方によって医療がなりたっているのだなあと感じました。

6.地域の先生方へのメッセージ

少しでも滋賀県の医療のお役に立てるように頑張っていきます。



クリスマスロビーコンサート

12月20日（水）、市立大津市民病院正面玄関ロビーにおいて、クリスマスコンサートを開催しました。

第一部ではおなじみのクリスマスキャロルの合唱、第二部はピアノとフルートによる演奏で、クラシックからJ-POPまで、多彩なプログラムとなっていました。

会場から「クリスマス気分を味わうことができた」とのお声をいただき、有志のスタッフもあたたかい気持ちになりました。



★研修会等開催のお知らせ★（参加費・駐車料金：無料）



●市立大津市民病院 市民公開講座

1月16日（火）14時～15時

「これだけは知っておきたい“膵がん診療”」

講演①：「膵がん診療の実際～膵がんの診断から治療にいたるまで～」

講師：消化器内科医長 全 圭夏

講演②：「なぜ今、膵がん検診が必要なのか？」

講師：理事長・院長 片岡 慶正

場所：市立大津市民病院 9階大会議室

お申し込み・お問い合わせ

市立大津市民病院 2階

地域医療連携室（直接来院またはお電話にて）

TEL：077-526-8192（平日 13:00～17:00）

●市立大津市民病院大学・健康講座

2月2日（金）14時～15時

テーマ：「乳がんのホントのことを教えます！」

講師：健診センター診療部長・外科医長 洲崎 聡

場所：市立大津市民病院 9階大会議室

お申し込み・お問い合わせ

市立大津市民病院 2階

地域医療連携室（直接来院またはお電話にて）

TEL：077-526-8192（平日 13:00～17:00）

●NST（栄養サポートチーム）勉強会

1月22日（月）17時30分～19時

テーマ：「糖尿病と栄養管理」

講師：当院内科 医長 峠岡 佑典

場所：市立大津市民病院 9階会議室 3

※ お申し込み・お問い合わせは栄養部 西田まで

TEL：077-522-4607（代表）

お知らせ

【耳鼻咽喉科の診療体制縮小について】

耳鼻咽喉科診療部長 中村高志医師が、平成30年1月末から「米国留学」をするため、診療体制をしばらく縮小させていただきます。

ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。



地域医療連携室より… 今月の一言

新年おめでとうございます。
昨年、院内・院外を問わず沢山の皆様にお世話になった1年でした。日々様々な出来事が起こり、ご迷惑をおかけしたこともありました。しかし、私達は今年も笑顔忘れずこのような心持ちで仕事に邁進していきたいと存じます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

一笑懸命



作：たっぴー
イラスト：まきろん